

普賢寺小学校 なのはな委員会だより

(学校運営協議会) 京田辺市立普賢寺小学校
学校運営協議会事務局
令和元年10月31日(木)発行



令和元年度第2回なのはな委員会を開催しました

10月17日(木) 令和元年度第2回なのはな委員会を開催しました。
今回の主な内容は以下の通りです。

- (1) 令和元年度小規模特認校制度募集要項について
- (2) 上半期の部会活動の振り返り
- (3) 下半期の部会活動計画
- (4) 「地域を誇れる子ども」「自分の学校を誇れる子ども」について

小規模特認校制度とは・・・

小規模で学力アップや教育機関との連携を大切にしたい教育活動を行っている普賢寺小学校で「学びたい」「学ばせたい」という希望者に対して、京田辺市内のどこからでも入学・転校を認める制度です。

以下は、児童数の推移を示したものです。

	昭和 57年度	平成 4年度	平成 19年度	平成 24年度	平成 28年度	令和 元年度
児童数	162	123	75	75	74	95
内地元児童数	162	123	70	60	34	29
内特認児童数	—	—	5	15	40	66

特認校制度の導入

来年度の転入学児童の募集人数は、以下の通りです。

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
10名程度	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名

「小規模特認校」であるため、各学年17名程度としております。希望者が多数の場合は抽選を行います。在校生の兄弟姉妹及び普賢寺幼稚園在園児(3年間通園児)が優先されます。

また、特別支援学級(おおぞら学級)は、校区外から4名としていますので、今回は1名のみの募集となります。

もともとの校区にお住まいの方(現時点では10名)は、希望者数にかかわらず入学をしていただきます。

今後の予定

特認校説明会 10月26日(土)
申込受付 11月5日(火)～13日(水)
抽選 11月20日(水)
親子面談 11月28日(木) 29日(金)

*委員の方から、「在校生の弟妹」に関わり、意見が出されました。優先されるのは、「現在1年生から5年生の在校生」であり、「6年生の在校生」は除かれているが、「6年生の在校生」も含めてはどうだろうかという意見が出されました。

現在の制度は、年長児の弟妹は除くとしている幼稚園の募集方法に則っています。

運動会 保護者の方からいただいた感想

9月28日(土)に開催しました「ふげんじっこ大運動会」には、たくさんの保護者・地域の方々から温かいご声援をいただき、ありがとうございました。保護者の方から、うれしい感想を寄せていただきましたので、一部紹介させていただきます。

どの子どもともいい笑顔だった印象が強いです。勝った、負けた、だけでなくみんなで盛り上げる、盛り上がる、とてもいい運動会だったと思います。

とにかく子どもたちがみんな楽しそうに、一生懸命、一つ一つの競技に向き合っているのが素敵でした。

普賢寺小学校らしさがあったてすごくよかったです。1年生から6年生までのみんなが仲良くしているのもさすが「ふげんじっこ!!」だなあと感じました。

普賢寺小学校の運動会は、子どもたちのがんばりを身近で見られて、応援の声も届くところ、テントの下で一緒にお弁当を食べながら運動会の活躍をほめてあげられるところ、遠方から孫の姿を見に来てくれる祖母にも満足してもらっています。

普賢寺の運動会は、子どもたち、親、先生方、地域の方、みんなで協力しあって作り上げる運動会なので、この先もずっとこのやり方を続けていけたらいいなと思います。

P.T.A.競技の大縄。卒業生チームも作っていただいて、ありがとうございました。

学年ごとのチームで大縄を跳び、跳んだ回数を競う種目です。

当日応援に来てくれていた卒業生(現在中学1年生から高校3年生)が急遽チームを作り、参加してくれるという、まさに普賢寺らしい嬉しいハプニングでした。

「地域を誇れる子ども」「自分の学校を誇れる子ども」とは・・・

協議会委員の方々と、「地域を誇れる」って?「学校を誇れる」って?ということテーマに思いつくままに交流をしていただきました。

- 普賢寺小学校の卒業生が地元を離れたとしても、特認校制度を利用して子どもが普賢寺小学校に通ってくれるといいね。
- 子どもたちのために、「地域の人財」探しをしたい。
- 学校の中で、先生や友だち、人とのつながりを大切にしなければならない。
- 保護者が来て、子どもたちの見守りをしてやることはどうだろう。
- 卒業した子どもたちが「普賢寺小学校」に来るためには、自分の知っている先生がいる方が来やすい。
- 仲のよい友だちというのは、将来もつながっていく。
- 全校みんな友だち、名前が言える、というのは素晴らしいことである。
- 親子行事や先生も一緒に参加できる行事を取り組んでいくとよい。
- 我が子だけではなく、子どもたちにどれだけ愛情を注げるかは、子どもにとってもとても大切。
- 普賢寺小学校の子は、幼稚園からずっとつながっている。
- 普賢寺の歴史を、子どもだけではなく保護者も地域の大人も一緒に学べる機会があるとよい。

短い時間の中で、いろいろな考えが出されました。今後も保護者及び地域住民の学校運営への参画を進め、「地域を誇れる子ども」「自分の学校を誇れる子ども」の育成のために取り組んでいくことが確認されました。

～ぜひ学校にお越しください。～

<各種作品展>

*全校児童の作品を体育館にて掲示・展示します。

①書き初め展：1月9日・10日

開催時間：8:30～17:00

②図工展：2月12日～14日

開催時間：12日：13:00～17:00

13日：8:30～17:00

14日：8:30～13:00

なのはな給食試食会：年間2回程度
ふるさとつながり大遠足：11月23日
マラソン大会：12月4日
竹送り：令和2年2月11日

授業参観

日時：2月14日(金) 11:35～12:35頃
授業参観と合わせて、給食の配膳の様子も見いただけます。